

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。
メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネータコラム

URA・社会連携センター 講師
奥脇 勝也

大村智記念学術館では、山梨大学の研究活動における SDGs 達成を目標とした取り組みについて、特別展示を開催しております。持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）は、2015年9月に開催された国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲載された、2016年から2030年までの国際目標であり、17ゴール及び169のターゲットから構成されています。本学の教育、研究及び診療にもSDGsが取り入れられており、それぞれのゴールに向けた取り組みを推進しています。
今回は、「13気候変動に具体的な対策を」に関連した研究について取り上げ、パネル展示を行っておりますので、是非ご覧ください。
本学では今後も、SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない（leave no one behind）」社会実現のため、教育、研究、診療に取り組んでまいります。

インフォメーション 目次

- 01： トピックス (1 件)
- 02： セミナー情報 (2 件)
- 03： 助成事業および公募情報 (1 件)
- 04： 事務局からのお知らせ

- ■
■ 01 トピックス (1 件)

◆文部科学省 令和4年度「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に採択されました

本事業は、地域社会と大学間の連携を通じて既存の教育プログラムを再構築し、地域を牽引する人材を育成することを目的としています。
このたび、本学と山梨県立大学が連携・協力して取り組む「知（地）のソーシャルキャピタル～学びの山梨モデル～構築事業」が令和4年度「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に採択されました。

- ■
■ 02 セミナー情報 (2 件)

◆【地域人材養成センター】「ドローンと AI を活かした DX 推進データサイエンティスト人材養成プログラム」の受講生募集中！

本プログラムは、ドローン操縦に関する技術と AI 技術を活用した画像解析やデータ解析の両方のスキルを持ち合わせた人材を育成し、DX 推進に必要なデータサイエンティストが有すべきスキルを身につけることを目標としています。

ドローン操縦技術と人工知能技術を同時に学ぶことができ、それぞれの分野における資格取得を目指します。主に就業者を対象とし、キャリアアップや転職のためのリスキリングに向けたプログラムを実施します。

応募期間：令和 4 年 8 月 22 日（月）～9 月 13 日（火）17 時

そのほかプログラム科目、スケジュール、応募方法等の詳細につきましては下記 URL をご覧ください。

<https://hr.yamanashi.ac.jp/future/jinzai/dx-recurrent/#anchor03>

◆【メディカル・デバイス・コリドー推進センター】
「医療機器産業参入促進セミナー」開催のご案内

センターでは、医療機器産業への参入促進・ビジネス拡大を目的としたオンラインセミナー（Zoom ミーティング）を開催いたします。

日 時：2022 年 9 月 29 日（木） 14:00～16:30

テ ー マ：「医療安全に基づく医療機器開発」

申込期限：2022 年 9 月 20 日(火)17 時

※先着 100 名様 of 事前登録制

詳しくは下記 URL をご覧ください。

<http://www.yiso.or.jp/mdcc/webdir/44.html>

リーフレット

http://www.yiso.or.jp/mdcc/webdir/44/20220929_MDCC_Seminar.pdf

ご興味がある方は、ぜひお早めにお申込みください。

■

■03 助成事業および公募情報 (1 件)

◆【山梨県】IoT 等活用支援事業の実施について

① IoT 導入支援専門家派遣事業

やまなし産業支援機構内に「IoT 導入支援窓口」を設置し、IoT 導入を検討する企業に対して専門家派遣等による支援を行います。

② IoT 専門家人材養成講座

県内中小企業に対し IoT 導入の支援を行うことができる専門家人材を育成するため、9 日間に渡る人材養成講座を開催します。

詳しくは下記 URL をご覧ください。

<https://www.pref.yamanashi.jp/seichosangyo/iot/iotkatsuyousien.html>

■

■04 事務局からお知らせ

◆技術課題等、ご相談について

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。
会員会社様の持っておられる技術課題を伺います。
ご希望の会員様がございましたら、事務局までお気軽に連絡してください。

-
- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
 - 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

■ □ ■ ————— ■ □ ■